

報道関係者各位

2020年9月23日

株式会社アマナ

『IMA』 vol.33 「特集：写真が描く世界のいま」 刊行！
～人類未曾有の危機に直面する今、33名のアーティストは何に向かうのか？～

さまざまなビジュアルコミュニケーション事業を展開するアマナグループ（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信、以下「アマナグループ」）は、この度、アート写真の季刊誌『IMA』 vol.33 (2020年秋号)「特集：写真が描く世界のいま」を刊行しました。



いま人類は未曾有の危機を迎えているといわれていますが、たまたま同時期に世界共通の「敵」に向き合っているだけで、歴史を振り返れば、私たちは常にあらゆる危機に直面してきました。いまもそれぞれの国や民族やコミュニティやジェンダーが個々の深刻な問題と対峙し、格闘しています。

写真はウイルスを撲滅することも、貧困を解消することも、紛争を仲裁することも、差別を撤廃することもできません。しかし目の前のものを可視化し、言葉を持たない人々の思いを伝え、私たちが気づいていなかったさまざまな事象を教えてください。アーティストたちは現在をとらえ、未来を示唆することをやめません。今号では33名のアーティストに作品を通して向き合うテーマとそれに対する彼らなりの答えを問いかけました。私たちは行動がどんなに制限されようとも、彼らの写真を通して世界中を旅することで、そこに潜む問いに気づくことができるのではないのでしょうか。いまこそ、写真に目を向けてみませんか？

▼目次より

「写真家はどちら側にいるか？」

文 = 池澤夏樹

カータ・ゲイブル／モナ・クーン／テリ・ワイフェンバック／ヴァサンタ・ヨガナンタン／カート・トン／チョウ・アンド・リン／アレキサンダー・グロンスキー／グラシエラ・イトウルビデ／クリスト&アンドリュウ／ソン・ニアン・アン／マリア・グルズデヴァ／顧剣亨／張克純／カティア・ストゥーケ&オリバー・ジーバー／グレゴリー・エディ・ジョーンズ／ハンナ・ダラビ／エリック・ケッセルス／ニック・ワプリントン／チャーリー・エングマン／小原一真／志賀理江子／曹良賓／藤原聡志／長島有里枝／バラット・シッカ／エルサ・レイダー／オリバー・チャナリン／森栄喜／ピクシー・リャオ／ジャブラーニ・ドゥラミニー／アリス・マン／ソラブ・フラ／クリスティーナ・デ・ミデル&ブルーノ・モライス

「アートが呼び起こす連鎖反応」

文 = チョウ・アンド・リン

「社会運動における政治的願望と写真」

文 = カティア・ストゥーケ&オリバー・ジーバー

「死までの、自然までの、現代社会の中で人間である私からの『距離』」

文 = 志賀理江子

「女性のポートレートにおける美の基準と教育の必要性」

文 = 長島有里枝

「写真というメディアの脱植民地化 ジャブラーニ・ドゥラミニー インタビュー」

その他の企画

STEP OUT! vol.29 溝淵亜依

アフリカ系アメリカ人写真家が紡ぐ、もうひとつの写真史

GINZA MAISON HERMÈS by DAISUKE YOKOTA

連載

TOKYO and US vol.15 シェルテンス & アベネス
Catch Up 世界の写真ニュース
Collector's Eye vol.5 デイヴィッド・ソロ
Photobook Chronicle vol. 4 『Doors』 / 『BUKUBUKU』
How They Are Made 新しい写真が生まれる現場 vol.21 石塚元太良

『IMA』 vol.33 「特集：写真が描く世界のいま」

2020年8月29日発売／販売価格：2,500円＋税／178頁／サイズ：297×225mm／重量：680g／制作年：2020
日英バイリンガル

～コーポレートミッション～

「ビジュアルコミュニケーションで世界を豊かにする。」

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ | コーポレートコミュニケーション室（担当：島田／住永）

TEL：03-3740-3500 MAIL：pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代表者：代表取締役社長 進藤 博信
所在地：東京都品川区東品川 2-2-43
設立：1979年4月
資本金：1,097百万円
証券コード：東証マザーズ 2402
売上高：（連結）23,031百万円 ※2019年度12月期実績
従業員数：（連結）1,107名 ※2020年1月1日現在
事業内容：ビジュアルコミュニケーション事業
U R L：<https://amana.jp/>